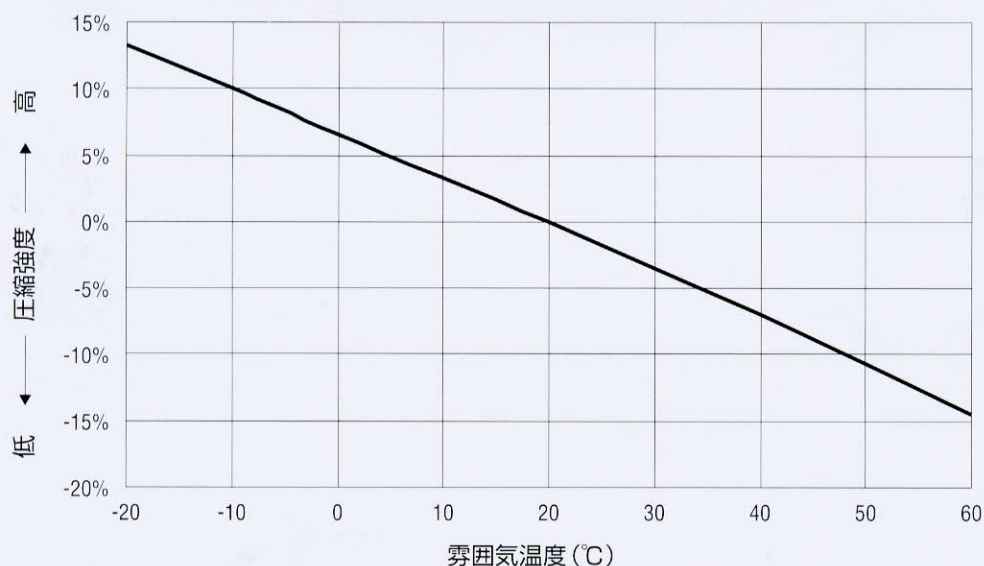


1. 圧縮強度の温度依存性

EPS断熱材は、他の建築材料と同様に使用される温度によって物理的性質が変化します。EPS断熱材の圧縮強度は一般的に温度が高くなると低下し、温度が低くなると大きくなる傾向を示します。

図.1に雰囲気温度の違いによる圧縮強度の増減率を示します。



【図-1】 雰囲気温度と圧縮強度の増減率

注1) 本データは雰囲気温度が20°Cのときの圧縮強度を基準とした各雰囲気温度での増減率を示しています。

実際にご使用の際は各メーカーにお問い合わせの上、安全率を考慮して下さい。

注2) 本データは測定値の一例であり、保証値ではありません。

■本資料に関するお問い合わせは

発泡スチロール協会・EPS 建材推進部

TEL.03-3861-9046 FAX.03-3861-0096